

大学等名：仙台高等専門学校
テーマ：テーマⅠ（アクティブ・ラーニング）

本取組みでは、教育システムを抜本的に改変し、次世代型の教育システムを構築・実践する。目指す教育システムは「全ての学生の能力を十分に伸ばす」ことを念頭に置いた、(A)アクティブラーニング型授業、(B)2種類のPBL、(C)マイペース完全習得学習から構成される。これを実現するために、教員の教育能力開発、カリキュラム開発、インフラ・支援体制整備等を重点的に実施する。これにより、深い専門知識を有し、21世紀を生き抜くスキルを持った人材、ならびに、新しい分野を切り開く有益な人材の育成を目指す。

背景(課題)

育成する人材像の変化

- ・中堅技術者から
グローバル・イノベティブ技術者に
- ・21世紀を生き抜く新たなスキルの獲得

教育システムの問題

- ・一斉授業が多く
→ 授業についていけない学生がいる
→ 優秀な学生を伸ばしきれていない
- ・問題解決型授業が少ない

事業による効果

- ・新たな教育システムの確立
 - * 学力の底上げ
 - * 突出した人材の輩出
 - * ジェネリックスキルの向上
- ・教員の授業力向上
- ・全国高専の教育改革モデル

到達目標設定

目指す教育システム

~全ての学生の能力を十分に伸ばすために~

アクティブラーニング型授業

学生が「自らまたは学生同士で学ぶ」活動が組み込まれた授業。深い知識を習得すると共に「学ぶ力」を育む。ほとんどの授業で実践する。

問題解決型/プロジェクト型PBL

問題解決型PBLとプロジェクト型PBL。問題解決力、創造力、実践力、プロジェクト遂行力等を育む。PBL型授業を開発し増やす。

マイペース完全習得学習

各単元を自分のペースで学び、完全に習得してから次に進む学習。全ての学生が確実に知識を習得できる。知識積み上げ型授業を中心に開発する。

到達度評価

重点実施項目

教員研修

教員の意識改革、教授スキル向上等のため、多様な教員研修および情報提供を実施する。

カリキュラム開発

目指す教育システムを実現するためのカリキュラム開発等を実施する。

インフラ・支援体制整備

目指す教育システムを効率的に実施するためのインフラ整備、実践を支援するための体制整備を実施する。

情報発信

ホームページを制作し、成果等を学内外に発信する。

【事業の成果】

指標 (目標値)	H26	H28	H30
アクティブ・ラーニングを受講する学生の割合	90%	100%	100%
アクティブ・ラーニングを導入した授業科目の割合	20%	60%	90%
アクティブ・ラーニングを行う専任教員の割合	50%	90%	95%

今までの学校改革がどのように加速されるのか

K-Skill、および、モデルコアカリキュラムを活用した新たな教育システムの構築を加速する。

学校全体にどのような影響があるのか

学生の学力・ジェネリックスキル向上、教員の授業力向上、さらに、全国高専の教育改革モデルとなる。